

就職・進路相談室だより

第12号 令和2年3月号
茨城大学 全学教職センター
就職進路相談室 029-228-8654



< 3月の予定 >



3月の相談室…演習計画

※ 通常相談の開室状況は別紙で相談室入り口等に掲示

日	月	火	水	木	金	土
1	2 場面模擬1 (石島) A棟 模擬授業室	3 面接1(菊池) A棟 模擬授業室	4	5 採用前Oa-M7p 研修会① 13:00~4年次 ・M2生対象	6	7
8	9	10 討論1(菊池) A棟 模擬授業室 ★中高・特支	11	12	13 面接2(益子) A棟 模擬授業室 採用前Oa-M7p 研修会② 10:00~	14
15	16 討論2(石島) A棟 模擬授業室 ☆小・養	17	18	19	20  春分の日	21
22	23	24 場面模擬2 (菊池) A棟 模擬授業室 卒業式	25 相談室打合せ	26	27 討論3(益子) A棟 模擬授業室 ◎全校種(フリ-)	28
29	30	31	◎ <u>小グループによる相談(ミニ実技演習)を設定!</u> 仲間を誘ってドリームキャンパスで予約(2コマOK)してください。場所は、各相談員の先生方の待機する相談室になります。演習の構想を練る上で役に立ちます。			

< 普段に行われているものがないときに何をするか >

- ◎ 2月をもって『教採講座』が終了しました。教採対策についての整理と点検をしましょう。教採講座で配布された資料をもとに、一次試験科目である「教職教養」「一般教養」「専門科目」(小学校全科・中学校・高等学校・特別支援学校・養護教諭の専門科目)の完全整理をしましょう。また、苦手な分野の点検も行いましょう。
- ◎ **資料の整理をしましょう。**併せて相談室の面談の際に得られた資料を整理し、インデックスやクリアファイルを使って、いつでも参照できるようにしてください。**山のような資料や情報をいかに整理し、自分のものにしていくかは実力アップの鍵となるとともに、合格の決め手にもなります。**
- 整理と点検は、論作文や個人面接、集団面接、集団討論、場面指導、模擬授業にも生きてきます。これも受験対策。面倒がらずに進められるといいですね。特に、4年次の教育実習を一次試験直前に予定している人は、より入念な計画と実践を今から心掛けておくことが大切になります。

☆課題に沿った序論の在り方を考える☆

論作文の決め手は、まずは、序論での課題の把握。課題に正対し、しっかりと受け止めた序論を書き、本論につなげていくことで、読み手に対して説得力のある文章になります。次に、本論の柱(見出し)、意見、具体的方策が合致した内容の本論を書くことです。課題から逸れたり、本論の筋道や根拠が弱いのは、致命的です。茨城県で過去に出題された「いじめ」に関する2つ論作文の課題を受けての序論の書き方と本論の柱(見出し)を検証してみます。…違いに敏感になりましょう。

茨城県で出題された、いじめに関する2つの論作文(小論文)の課題に基づいた序論と本論の柱

平成26年度(2014年度)採用論作文課題

平成30年度(2018年度)採用論作文課題

いじめの早期発見・早期解決のために、あなたは、養護教諭としてどのように取り組んでいきますか。あなたの考えを具体的に述べなさい。

いじめの早期発見・早期対応のためには、学校全体による組織的な取り組みが大切です。あなたは、養護教諭として、このことをどのように考え、どのように取り組んでいきますか。

序論5行(30字×5行 150字)

近年、急激な社会環境や生活様式の変化が児童生徒に様々な影響を与え、いじめや不登校など心の健康課題が深刻化し、いじめによる自殺が大きな社会問題となっている。私は、「いじめは許さない」という意識をもち、学校全体で対応することが重要であると考えている。そこで、実態把握と健康相談及び連携を基盤に以下三点で取り組む。

本論①の柱 第一点は、健康観察を強化し、確かな実態把握をすることである。
本論②の柱 第二点は、児童生徒一人一人に向き合った健康相談活動の充実である。
本論③の柱 第三点は、教職員や保護者、関係機関との連携を密に図ることである。

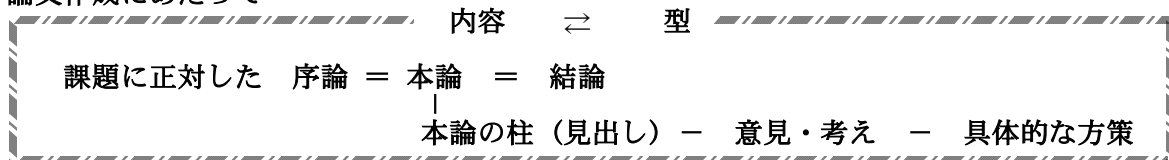
序論5行(30字×5行 150字)

現在、いじめの認知件数は増加しており、一方でネットによる誹謗中傷などいじめの多様化・複雑化がみられる。様々ないじめの早期発見・早期対応のためには、学校がチームとして連携した対応が必要であると考えている。そのために、養護教諭としての専門性とコーディネーターの役割を果たすことを基盤に、以下三点に取り組む。

本論①の柱 第一点は、教職員や保護者との情報共有を密にしたきめ細かな実態把握に努めることである。
本論②の柱 第二点は、開かれた保健室経営を基盤とした健康相談活動の充実を図ることである。
本論③の柱 第三点は、外部人材や関係機関との連携による児童生徒の心のケアを充実することである。

☆ここからは自分づくりの視点で過去問にふれてみませんか☆

小論文作成にあたって…



大事にすることは…課題に正対した「内容」とその内容を伝えるための二つの「型」！！

志願理由や自己PRの作成にあたって…
大事にすることは…自己分析！！

自己分析とは、「過去から現在、そして教員としての将来に至るまで、しっかりと自分を見つめ直し、魅力ある自分を探し出す」作業…学校はそんな魅力ある皆さんを求めています／試験官はそんなみなさんの魅力に出会いたいのだと思います。ここでは、小論文をどう書くかは抜きにして、それぞれの自分づくりのために(魅力づくりのために)、以下の論作文の過去問を紹介してみたいと思います。何か感じるものがあったら幸いです。

★群馬県教員採用試験の論作文の実施問題です。(2011年度採用)★

【全校種共通】次の文章を読んで、自分の考えを400字以内で述べよ。

学校の生徒は、先生と教科書にひっぱられて勉強する。自学自習ということばこそあるけれども、独力で知識を得るのではない。いわばグライダーのようなものだ。自力では飛び上がることはできない。

グライダーと飛行機は、遠くからみると似ている。空を飛ぶのも同じで、グライダーが音もなく優雅に滑空しているさまは、飛行機よりもむしろ美しいくらいだ。ただ、悲しいかな、自力で飛ぶことができない。(外山滋比古「思考の整理学」による)

上の文章は、東京大学と京都大学で一番に読まれた『思考の整理学』の中の「グライダー」という文章の一部です。教員採用試験の論作文の課題には、このように、書物の中の文章を読んで考え方を書かせる都道府県があります。茨城県の高専学校受験者へ課せられる論作文試験もその一つです。教授受験者にとって、日頃から本を読むことの大切さを物語っています。教員採用試験に出題される・されないは関係なく、世の大学生にとっての必読書であると思いますので、是非読んでみてください。この本を読んだ、東京大学の学生の感想を紹介します。



- ★大学やその先で求められている「学び」に対する姿勢が、少し分かった気がする。★メモをとり、整理する癖がつかました。★根底にある理念は、自ら学べという点だと感じた。★今の自分を肯定して考えることの楽しさを教えてください。★他分野との接触、混在が新しい思考法を生み出すという考えがとても新鮮に思えた。★知識に偏った勉強をしてきたからこそ、それじゃいけないんだと、思いを新たにしました。★この本を読んでいないなんて、人生の半分を損している。

★福井県教員採用試験の論作文の実施問題です。(2016年度採用)★

◆文章◆ **条件を付けた論作文**

- ア 教育は科学であってはなりません。それは芸術でなければならないのです。(シュタイナー)
- イ 平凡な教師は言うて聞かせる。よい教師は説明する。優秀な教師はやってみせる。しかし、最高の教師は子どもの心に火をつける。(ウィリアム・ウォード)
- ウ 学校で教えることも必要だけれども、教えるのは過去のことなんだ。ほんとに必要なのは、未来なんだ。(本田宗一郎)
- エ 教師はろうそくのようなもので、自ら燃やし続けて生涯を啓発する。(ルーファニー)

◆課題(条件)◆

上のア～エの名言・格言の中から、あなたが最も共感できるものを1つ選び、次の3つの点に留意し、800字程度で論じなさい。(※原稿用紙は縦書きで、字数は810字が上限である。)

- ① あなたが選んだ名言・格言の意味と、選んだ理由。
- ② 選択した名言・格言を教育の現場で生かすために、具体的にどのような教育実践を行うか。
- ③ ②の教育実践を行うために、あなた自身はどのように教員としての資質を高めていくか。

上記の問題は、教育理論家・教育思想家及び経営者の言葉から、教育とは何か、教育現場や社会の中で信頼される教員の資質とは何かを考え、どのように高め実践していくかが問われたもので、条件をクリアしての論述力が求められています。教員採用試験では、単なる暗記による知識だけでなく、理論と実践を噛み合わせていく勉強が大切であることを物語っています。また、このことは、面接試験や模擬授業にも活用できると考えます。教員採用試験への対策をしていく中で、筆記試験の対策と論作文や面接への対応を有機的に結びつけた勉強の仕方を考えていってほしいと願います。